

ドラゴンアッシュのATSUSHIさん



命をテーマに写真展

「生きる意味考えて」

4日まで梅田

人気ヒップホップグループ「Dragon Ash」のメンバーでダンサーのATSUSHIさん(31)が、大阪で「命」をテーマにした写真展を1日から開く。2年前、捨て猫や捨て犬が集められる「アニマルシェルター」を訪れたのをきっかけに企画。「人から注目を集める立場だからこそ、訴えられることがあると思う」。知り合いのアスリートに声をかけ「生」をテーマにその姿を切り取った作品を並べる。来場者には「生きる意味を考えてもらいたい」という。

(染田屋竜太)

写真展名は「POWER

of LIFE」。大阪市北区の商業施設「HEP FIVE」8階のHEP HALLで4日まで開く。ATSUSHIさん自身や柔道家の野村忠宏さん、ランナーの朝原宣治さんや為末大さんの姿をカメラに収めた写真約70枚を展示する。ATSUSHIさんが「生命力」をテーマに考えた構図を元に、プロの写真家らが撮影。アスリートの肉体や表情を切り取り、その人なりの「生」を表している。これまでに東京と札幌で開き、写真をさらに増やして大阪でも開催することにした。

人から聞いたアニマルシェルターに興味を持ち、「なん

写真展を企画したATSUSHIさん // POWER of LIFE実行委提供

となく」訪れたのは2008年7月。人間の都合で飼ったペットが人間の都合で捨てられる。にもかかわらず、犬や猫たちの目は輝いて見え、これまで味わったことのない感覚に襲われた。「かわいそうとか飼い主が憎いというのでは違う。生きるって何なんだろう。そんな根本的な疑問がわいてきた」。この思いを多くの人に伝えたい、と動き始めた。「売名行為と思われるよ」「理解してもらえないんじゃないの」。そんな声も聞こえたが、「面白い。協力するよ」と言ってくれる人が少しずつ増えていった。

展示では、アスリートらの作品とともにアニマルシェルターの現状を写した写真も並ぶ。あえて説明はつけていない。ATSUSHIさん自身もダンスという言葉のない世界で生きる。「何を感じるかは見る人次第。押しつけたくない」。命を考える人が増えることで、結果的に捨てられるペットの現状を変えたいという気持ちもあるが「それも、来た人の気持ち次第」。47都道府県で写真展を開くのが目標だ。

「Dragon Ashが」

好きな人、ATSUSHIに興味がある人。別にペットに関心がなくてもいい。来てもいい、何かを感じてほしい」と話す。入場料は1人最低500円で、それ以上払うかどうかはその人次第。問い合わせは実行委員会 (info@poweroflife.jp) へ。